

# 2016年9月期 決算説明資料

2016年11月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ : 8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

# 目次

## 2016年9月期 通期業績 営業概要

2016年9月期 事業総括	3
連結業績ハイライト	4
セグメント別業績	5
投融資の推移（連結）	6
受託資産残高の推移（FAM）	7
連結貸借対照表	8
連結損益計算書	9

## 業績見通し、配当

2017年9月期 業績見通し	11
当期配当、次期配当見込み	12

## 2017年9月期の施策

2017年9月期 重点取り組み	14
-----------------	----

## 参考資料

投資先企業抜粋（直接投資）	17
投資先企業抜粋（FGF）	18
個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）	19
グループ各社 単体業績の推移	21
連結業績の推移	22
フィンテック グローバル株式会社 会社概要	23

## 免責条項

# 2016年9月期 通期業績 営業概要

### 投資銀行 業務

#### アセット投資の収益上がらず、大幅損失要因に。

- ・アセット投資において期初9億円の売上総利益を見込んだものの、プロジェクト獲得競争激化及び売却が進まず資金回転が低下したことで、アセット投資に係る売上総利益は2億円に留まる。
- ・特定分野における不動産証券化アレンジメント・AMは、組成額・件数とも増加。

### 企業投資

#### 大型投資回収はなし。

- ・期初より大型投資回収を予定せず。
- ・投資先育成により企業価値向上。ベンチャー企業4社へ新規投資。

### メツツア 事業

#### 基本設計終了。

- ・ムーミンテーマパークをはじめとする「メツツア」は、開発申請のため人員、資金を投入し準備に注力。事業構想を固め、基本設計まで終了。
- ・ウェブサイト開設の準備も進む。

### 不動産事業

#### 売上堅調、コスト削減で黒字化

- ・住宅販売が軌道にのる。不動産eビジネスは確立途上で低調。営業所統廃合等によりコスト削減し、収益性改善。不動産賃貸会社を子会社化。

# 連結業績ハイライト

(単位：百万円)	2015年 9月期 実績 (A)	2016年 9月期 実績 (B)	前期比 (B)-(A)	業績予想 (当初発表) 2015/11発表 (C)	当初業績 予想比 (C)-(B)
売上高	5,429	7,485	2,056	7,700	△214
売上総利益	2,495	1,496	△998	—	—
営業利益	115	△1,031	△1,146	230	△1,261
経常利益	237	△1,369	△1,606	180	△1,549
親会社株主に帰属する 当期純利益	224	△1,384	△1,609	170	△1,554

★投資銀行業務のアセット売却及び不動産事業の住宅販売増加により売上高増加。

★販管費は当初予想の水準。人件費・メツツア事業の先行投資で前期比6.2%増加。

★外貨建投資による為替差損211百万円を営業外費用計上。

# セグメント別業績

【売上高はセグメント間取引を含む。】

(単位：百万円)		2015年9月期	2016年9月期	前年同期比	主な連結会社
投資銀行事業	売上高	1,641	2,485	844	当社(FGI)、フィンテックアセットマネジメント(FAM)
	営業利益	1,335	349	△986	フィンテックグローバルトレーディング(FGT)(注)
不動産事業	売上高	3,371	4,972	1,601	ベターライフサポートホールディングス、 ベルス、ユニハウス、ベターライフハウス、 ベターライフプロパティ (注)
	営業利益	△80	103	184	
その他	売上高	40	41	0	ムーミン物語、アダコテック (注)
	営業利益	△105	△226	△121	パブリック・マネジメント・コンサルティング (2015/9期1Qまで連結)
(建設事業)	売上高	423	-	△423	岡山建設 (2015/9期2Qまで連結)
	営業利益	△0	-	0	
調整額	売上高	△47	△14	33	
	営業利益	△1,034	△1,257	△223	
連結P L計上額	売上高	5,429	7,485	2,056	
	営業利益	115	△1,031	△1,146	

(注) FGT、ムーミン物語、アダコテックは2015年9月期第2四半期より、ベターライフプロパティは2016年9月期第3四半期より連結。

※調整額（営業利益）（2016年9月期は△1,257百万円）には、セグメント間取引消去（2016年9月期は25百万円）及び報告セグメントに配分していない全社費用（2016年9月期は△1,282百万円）が含まれております。全社費用は、主に合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

# 投融资の推移（連結）

## 2016年9月期（2015年10月～2016年9月）の主な変動要因（総額は前期末比34.0%増）

- ・プリンシパルインベストメント
- ・収益賃貸不動産
- ・販売用不動産(投資銀行事業)
- ・販売用不動産(不動産事業)

いくつかの案件で投資回収 “フィンテック”企業への投資は増加。

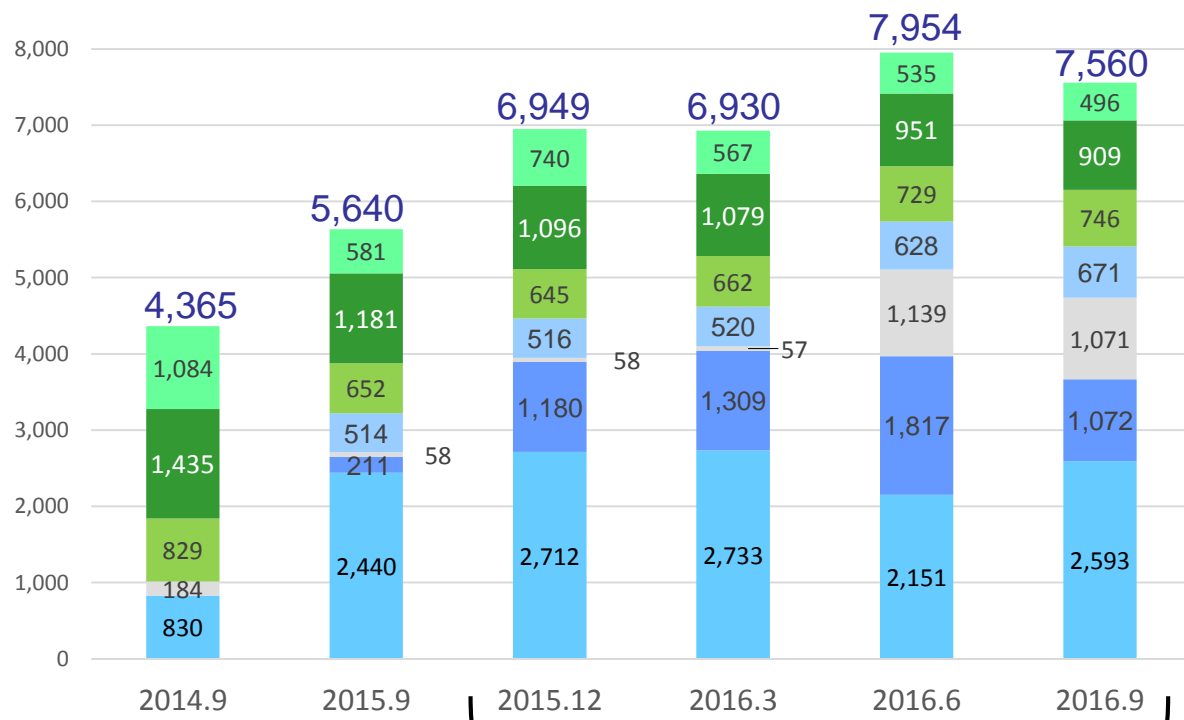
不動産賃貸会社の子会社化による増加。

期中取得のアセット投資（発電所）は、期末までに売却。開発案件は残存。

収益型不動産（販売用）が増加。

用地取得、住宅の販売による増減。

(単位：百万円)



- プリンシパルインベストメント (当社グループによる投資)
- ベンチャーキャピタルファンド (FinTech GIMV Fundへの投資)
- 企業融資
- 固定資産 (メツツア事業)
- 収益賃貸不動産 (不動産事業)
- 販売用不動産(投資銀行事業)
- 販売用不動産 (不動産事業)

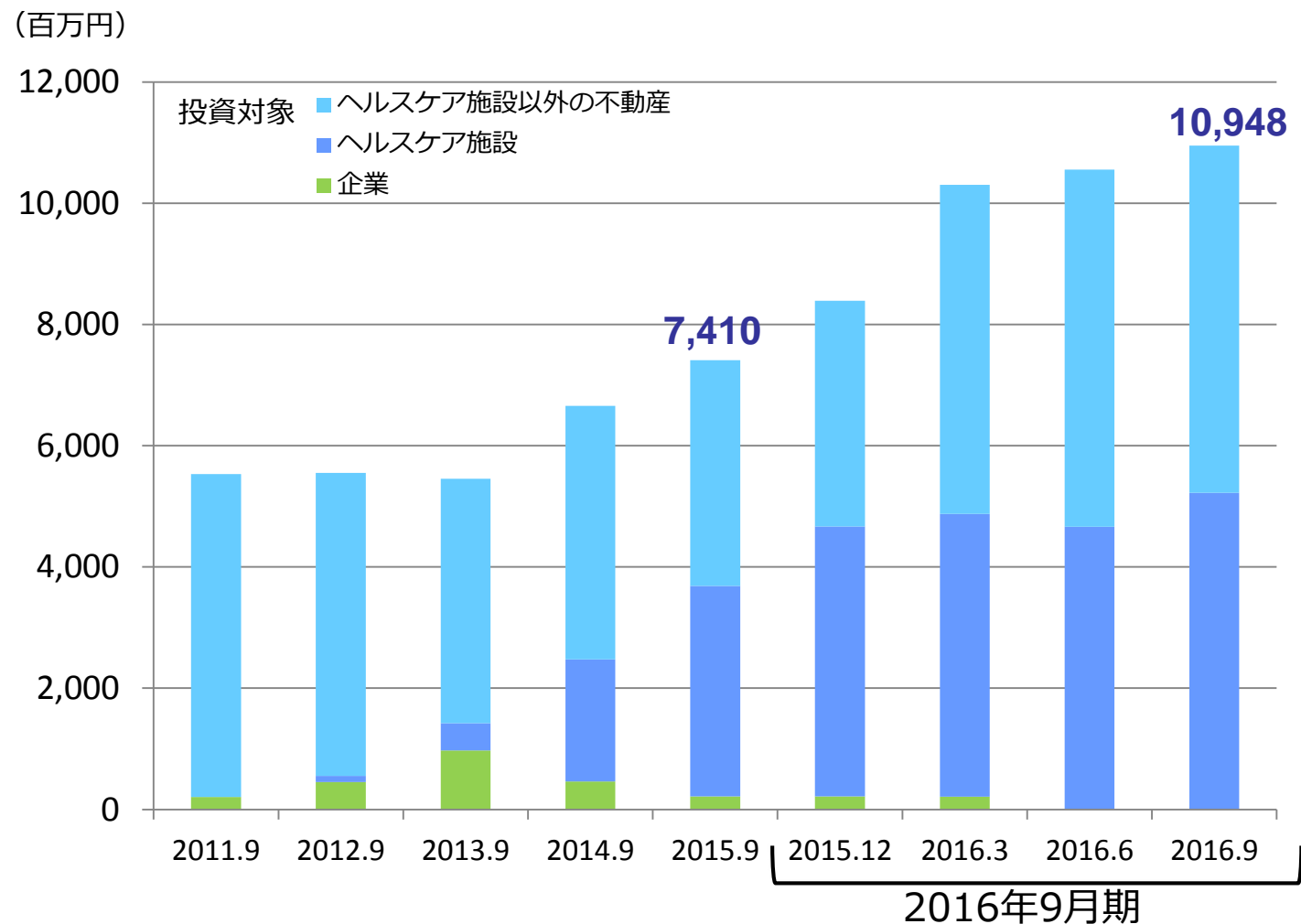
(注)

- ・プリンシパルインベストメントは、ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金、出資金の合計額であります。
- ・企業融資は、全額引当している債権を除いて記載しております。
- ・販売用不動産は、仕掛販売用不動産を含めて記載しております。

# 受託資産残高の推移（F A M）

2016年9月期は、ヘルスケア施設、都心部の集合住宅のアセットマネジメント（A M）を新規受託。2016年9月期末は前期末比47.8%増。（うち不動産A Mは52.2%増）

※ヘルスケア施設：高齢者向け住宅を主とする施設





# 連結貸借対照表

## 資産の部

15年9月期 16年9月期 増減

	15年9月期	16年9月期	増減
流動資産	10,507,445	8,265,216	△ 2,242,228
現金及び預金	4,617,855	2,290,523	△ 2,327,331
受取手形・売掛金	237,393	67,723	△ 169,669
1 営業投資有価証券	1,565,930	1,291,852	△ 274,077
営業貸付金	761,902	793,762	31,859
2 販売用不動産	1,515,740	977,020	△ 538,720
3 仕掛販売用不動産	1,135,958	2,693,211	1,557,252
繰延税金資産	4,342	11,628	7,285
その他	870,335	328,402	△ 541,933
貸倒引当金	△ 202,015	△ 188,909	13,105
固定資産	1,450,659	2,710,409	1,259,749
4 有形固定資産	841,025	2,307,618	1,466,593
無形固定資産	129,704	90,627	△ 39,077
1 投資その他の資産	479,929	312,163	△ 167,766
資産合計	11,958,104	10,975,625	△ 982,478

- 1 "フィンテック"関連企業等へ新規投資を実行  
・持分売却、ファンド出資回収により残高減少
- 2 住宅の販売進捗により減少。  
・アセット投資（発電所）は、全て売却。  
・収益型のアセット投資は、新規取得により増加
- 3 積極的な用地取得により住宅開発プロジェクトが増加  
・発電所開発プロジェクト（アセット投資）により増加
- 4 メツツア事業用地の追加取得  
・不動産賃貸会社の子会社化による収益不動産増加

## 負債の部

15年9月期 16年9月期 増減

	15年9月期	16年9月期	増減
流動負債	3,109,925	2,772,281	△ 337,643
支払手形・買掛金	41,639	14,130	△ 27,509
短期借入金	2,372,557	1,981,862	△ 390,695
1年内償還予定の社債	46,000	38,000	△ 8,000
1年内返済予定の長期借入金	163,284	115,665	△ 47,618
未払法人税等	41,396	30,719	△ 10,676
繰延税金負債	265	2,846	2,580
賞与引当金	42,466	50,099	7,633
その他	402,315	538,957	136,641
固定負債	968,294	1,890,459	922,165
社債	98,000	60,000	△ 38,000
長期借入金	691,779	1,540,470	848,691
退職給付に係る負債	105,646	105,901	254
繰延税金負債	37,606	141,840	104,234
その他	35,261	42,246	6,984
負債合計	4,078,219	4,662,741	584,521

## 純資産の部

	15年9月期	16年9月期	増減
株主資本	7,940,881	6,455,655	△ 1,485,226
資本金	4,548,138	4,548,647	509
資本剰余金	2,125,950	2,122,245	△ 3,704
利益剰余金	1,266,792	△ 215,238	△ 1,482,031
その他の包括利益累計額	△ 118,455	△ 194,875	△ 76,420
新株予約権	16,729	33,560	16,830
非支配株主持分	40,728	18,544	△ 22,183
純資産合計	7,879,885	6,312,884	△ 1,567,000
負債純資産合計	11,958,104	10,975,625	△ 982,478

# 連結損益計算書

(単位：千円)

	2015年9月期	2016年9月期	増減
売上高	5,429,688	7,485,886	2,056,198
売上原価	2,934,417	5,989,419	3,055,001
売上総利益	2,495,270	1,496,467	△ 998,803
販売費及び一般管理費	2,380,246	2,527,820	147,573
営業利益又は営業損失 (△)	115,024	△ 1,031,352	△ 1,146,376
営業外収益	166,160	20,871	△ 145,288
営業外費用	44,175	358,613	314,438
経常利益又は経常損失 (△)	237,008	△ 1,369,095	△ 1,606,103
特別利益	23,999	2,096	△ 21,902
特別損失	27,578	30,773	3,194
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	233,429	△ 1,397,771	△ 1,631,201
法人税等	33,176	6,986	△ 26,190
当期純利益又は当期純損失 (△)	200,253	△ 1,404,757	△ 1,605,011
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 24,227	△ 19,873	4,353
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	224,481	△ 1,384,883	△ 1,609,365

1

・アセット投資案件の売却、住宅の販売増により、売上高、売上原価とも、大幅に増加

2

・投資銀行事業（メツツア事業を含む）の人員補強により、人件費が増加  
・メツツア事業の先行投資により支払手数料等が増加

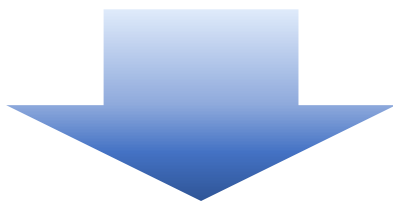
3

・為替差損211百万円を計上

# 業績見通し、配当

2017年9月期は、投資銀行事業において不動産証券化アレンジメントが引続き伸長、アセット投資の大型エグジット（投資回収）も見込まれます。また不動産事業は、軌道に乗ったことで業績は引続き安定して伸長することが見込まれ、当社グループの収益性は大幅に改善する見込みであります。

一方で、アセット投資案件のエグジット（大型含む）については、多数の案件関係者と調整中であり、現段階では想定されるエグジット金額の幅が大きくなっています。このため、このエグジット金額・時期を現段階で確定的に見積ることは極めて困難であります。



今回、業績予想は行わず、これらの結果等が判明次第、開示を行う予定であります。

# 当期配当、次期配当見込み

## 【基本方針】

経営基盤の強化と拡大する事業を迅速かつ確実に捉えるために、十分な内部留保金を維持することに留意しつつ、株主の皆様には利益を還元することが配当政策上重要であると考え、業績の状況や将来の事業展開などを総合的に勘案して配当することを基本としています。

## 【当期配当】

当期の大幅な損失計上により、配当原資である利益剰余金がマイナスとなりました。このため、誠に遺憾ではございますが、期末配当は見送りとさせていただきます。

## 【次期配当】

次期の期末配当予想については、業績予想の算定に至っていないため未定であり、業績予想を算定次第、決定する予定です。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2017年9月期の施策

## アレンジ増加、アセット投資回収により収益力向上。

投資銀行事業

投資銀行  
業務

### アレンジ増。受託案件をまとめ私募ファンド組成へ。

- ・アレンジ 前期売上2.5億円 ⇒ 今期予算5億円
- ・人的リソースを集約し、不動産証券化アレンジ・AM増加。
- ・私募ファンドを組成し、既存受託物件売却による収益獲得。  
将来はリート等への売却を計画。

### 大型アセット投資案件の回収。

- ・複数の大型アセット投資回収を検討中。現在、案件への参加者予定者と協議中。  
(10億円超の投資回収予定)

企業投資

### 成長企業への投資継続及び投資回収。

- ・エグジット（回収）は、2016年10月に利益2億円計上済。

メッツァ  
事業

### 開業準備進行。

- ・2016年12月上旬に開業時期及びコンセプト・提供価値等を発表予定。
- ・今期の追加先行費用として7億円を予定。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 不動産事業

### 不動産eビジネスの確立

- ・ 福利厚生サービス契約企業に勤務する1,500万人にアクセスできる経営資源活用。
- ・ 不動産事業の前期売上実績49億円 ⇒ 今期予想55億円。

## 公共事業

### 公共関連ビジネスの拡張

- ・ 公会計制度の本格導入、資産老朽化問題対応の公共施設等総合管理計画、PFI導入コンサル等のビジネスチャンスに対応すべく、M & A・グループ会社の資本増強、公共事業部門を再編で体制強化。報告セグメント化も検討。

## 管理体制

### 人材の採用、育成。内部管理、コンプラ態勢の強化・維持。

- ・ プロフェッショナルな人材の採用、育成体制の充実。
- ・ 内部管理、コンプライアンス態勢の強化、維持

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



# 参考資料

- 投資先企業抜粋(直接投資)
- 投資先企業抜粋(FGF)
- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- グループ各社 単体業績の推移
- 連結業績の推移（6期分）
- 会社概要

# 投資先企業抜粋（直接投資）

## ■2015年10月以降の新規投資先

### Tube 株式会社

【投資開始 2016年5月】



中部国際空港セントレア ターミナルビル内に、  
24時間利用できる宿泊・休憩スペース「TUBE Sq」  
を2017年春（2～3月）オープン予定。

### ミュージックセキュリティーズ 株式会社

【投資開始 2015年12月】



インターネットを通じて事業資金提供者を募る投資型  
「クラウドファンディング」分野の先駆的企業。

### Queen Bee Capital 株式会社

【投資開始 2015年10月】



財務省関東財務局長の許可を得た資金移動事業者。  
インターネットによる通貨両替・海外送金サービス  
「PayForex」を運営。

### MDT INNOVATIONS Sdn Bhd

【投資開始 2015年12月】



マレーシアのRFIDソリューション・プロバイダ。  
RFIDタグ・リーダーの世界トップ5のメーカーであ  
り、中国、インドネシア、オーストラリア等アジアを  
中心にグローバルに事業展開。

# 投資先企業抜粋 (FGF)

FinTech GIMV Fund(FGF)は当社、日本政策投資銀行、GIMV(ベルギーの投資会社) がリードインベスターとしてライフサイエンス及びICT分野に投資するベンチャーキャピタルファンドです。主な投資先企業の現況は下記の通りです。



## SFJ Pharmaceuticals Inc.

パートナー製薬企業に革新的な資金調達アプローチを提供しており、エーザイ(株)やファイザーといった大手製薬企業と有望な新薬候補品の共同開発契約を締結。エーザイ(株)との抗がん剤の共同開発は、当該抗がん剤が甲状腺がんに係る適応で各国で承認を取得し、2015年、成功裏に完了。現在、複数の抗がん剤開発のプロジェクトにおいて、第Ⅲ相治験が進行中。



## Histogenics Corporation

スポーツ・事故等による膝軟骨損傷に対して、新生関節軟骨移植の再生医療ビジネスを展開する企業。2014年12月、米国NASDAQ市場に上場 (Nasdaq:HSGX)。現在、候補薬の第Ⅲ相治験が進行中。

# 個別貸借対照表

	資産の部		
	15年9月期	16年9月期	増減
<b>流動資産</b>	8,092,919	5,783,247	△ 2,309,672
現金及び預金	4,178,000	1,700,066	△ 2,477,934
売掛金	160,300	5,218	△ 155,082
営業投資有価証券	1,505,339	1,090,244	△ 415,094
営業貸付金	782,862	846,422	63,559
短期貸付金	924,050	1,712,448	788,397
仕掛販売用不動産	—	347,280	347,280
その他	789,108	357,195	△ 431,912
貸倒引当金	△ 246,741	△ 275,627	△ 28,886
<b>固定資産</b>	1,579,563	1,789,716	210,152
有形固定資産	613,387	750,087	136,700
無形固定資産	9,034	19,201	10,166
投資その他の資産	957,141	1,020,427	63,286
<b>資産合計</b>	9,672,483	7,572,963	△ 2,099,519

	負債の部			(単位：千円)
	15年9月期	16年9月期	増減	
<b>流動負債</b>	1,559,865	660,971	△ 898,894	
買掛金	35,451	—	△ 35,451	
短期借入金	1,220,500	356,300	△ 864,200	
1年内返済予定の長期借入金	17,268	32,589	15,321	
未払金	166,592	58,000	△ 108,592	
預り金	31,463	51,969	20,506	
前受金	2,978	102,958	99,979	
賞与引当金	30,703	33,297	2,593	
その他	54,908	25,856	△ 29,051	
<b>固定負債</b>	266,403	416,023	149,619	
長期借入金	138,929	308,500	169,571	
退職給付引当金	73,329	75,544	2,215	
その他	54,145	31,978	△ 22,167	
<b>負債合計</b>	1,826,269	1,076,994	△ 749,275	

純資産の部			
<b>株主資本</b>	7,948,398	6,657,284	△ 1,291,113
資本金	4,548,138	4,548,647	509
資本剰余金	2,113,361	2,113,870	509
利益剰余金	1,286,898	△ 5,232	△ 1,292,131
評価・換算差額等	△ 118,914	△ 194,875	△ 75,960
新株予約権	16,729	33,560	16,830
<b>純資産合計</b>	7,846,213	6,495,969	△ 1,350,243
<b>負債純資産合計</b>	9,672,483	7,572,963	△ 2,099,519

# 個別損益計算書

(単位：千円)

	2015年9月期	2016年9月期	増減
売上高	1,464,130	2,268,636	804,505
売上原価	192,324	1,885,442	1,693,117
売上総利益	1,271,805	383,193	△ 888,611
販売費及び一般管理費	1,106,011	1,322,501	216,490
営業利益又は営業損失 (△)	165,793	△ 939,308	△ 1,105,101
営業外収益	238,466	85,607	△ 152,858
営業外費用	100,781	346,811	246,030
経常利益又は経常損失 (△)	303,479	△ 1,200,511	△ 1,503,990
特別利益	269,903	10,483	△ 259,419
特別損失	36,166	30,647	△ 5,519
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失 (△)	537,216	△ 1,220,675	△ 1,757,891
法人税等	80	△ 25,691	△ 25,771
当期純利益又は当期純損失 (△)	537,136	△ 1,194,984	△ 1,732,120

# グループ各社 単体業績の推移

単位：百万円

## セグメント：投資銀行事業

フィンテック グローバル	2015年9月期			2016年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	531	932	1,464	1,246	1,022	2,268
売上総利益	376	895	1,271	229	153	383
経常利益	28	274	303	△ 604	△ 596	△ 1,200

## セグメント：不動産事業

ベルス	2015年9月期			2016年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	204	359	564	228	246	475
売上総利益	136	294	431	168	129	297
経常利益	△ 44	35	△ 9	△ 13	△ 41	△ 55

2015年9月期は決算期変更のため、15ヶ月決算（下半期は9ヶ月）

## セグメント：投資銀行事業

フィンテック アセット マネジメント	2015年9月期			2016年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	30	55	85	51	58	109
売上総利益	30	55	85	51	55	106
経常利益	△ 1	26	25	13	20	34

## セグメント：不動産事業

ユニハウス	2015年9月期			2016年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	221	205	426	161	152	314
売上総利益	221	205	426	161	152	314
経常利益	△ 22	△ 50	△ 72	△ 21	29	7

## セグメント：不動産事業

ベターライフ プロパティ	2016年 9月期
	下半期
売上高	79
売上総利益	79
経常利益	3

2016年4月より連結

## セグメント：投資銀行事業

フィンテック グローバル トレーディング	2015年9月期	2016年9月期		
	通期 (15年1月～9月)	上半期	下半期	通期
売上高	171	72	148	220
売上総利益	160	62	40	102
経常利益	95	24	△ 5	19

2015年1月より連結

## セグメント：不動産事業

ベターライフ ハウス	2015年9月期			2016年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	670	1,400	2,071	1,722	2,472	4,195
売上総利益	56	89	146	124	267	391
経常利益	△ 12	△ 27	△ 40	△ 21	89	67

## セグメント：不動産事業

スリーオーク	2015年9月期			2016年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	239	173	412	-
売上総利益	8	8	16	-
経常利益	6	2	9	11

2014年4月より連結 2015年9月解散

2016年2月清算終了

## セグメント：その他

ムーミン物語	2015年9月期	2016年9月期		
	通期 (15年1月～9月)	上半期	下半期	通期
売上高	0	2	2	2
売上総利益	0	0	1	1
経常利益	△ 95	△ 52	△ 181	△ 233

2015年1月より連結

## セグメント：その他

アダコテック	2015年9月期	2016年9月期		
	通期 (15年1月～9月)	上半期	下半期	通期
売上高	19	11	25	37
売上総利益	19	11	25	36
経常利益	△ 2	△ 2	7	5

2015年1月より連結

# 連結業績の推移

決算年月		2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期
売上高	(百万円)	6,988	2,038	1,603	3,911	5,429	7,485
売上総利益	(百万円)	3,509	908	1,468	2,398	2,495	1,496
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	1,220	△ 915	88	684	237	△ 1,369
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(百万円)	1,404	△ 1,274	182	923	224	△ 1,384
純資産額	(百万円)	4,870	3,632	2,716	5,534	7,879	6,312
総資産額	(百万円)	7,682	6,417	4,770	7,452	11,958	10,975
1株当たり純資産額	(円)	31.52	19.82	22.23	37.41	48.31	38.66
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	11.69	△ 10.70	1.52	6.92	1.48	△ 8.56
潜在株式調整後							
1株当たり当期純利益金額	(円)	11.68	–	1.52	6.89	1.47	–
自己資本比率	(%)	48.9	36.8	56.4	73.9	65.4	57.0
自己資本利益率	(%)	45.3	△ 41.7	7.2	22.5	3.4	△ 19.7
株価収益率	(倍)	2.6	–	21.9	9.2	84.7	–
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,953	959	△ 464	△ 2,208	△ 1,791	△ 1,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 631	80	85	509	△ 644	△ 302
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 413	△ 233	△ 128	2,065	4,761	△ 751
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	1,711	2,522	1,644	2,024	4,612	2,240
従業員数(連結)							
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	70 (17)	60(19)	51(13)	109(7)	117(8)	114(20)
従業員数(単体)							
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	15 (2)	20(3)	26(3)	24(3)	38(3)	45(8)

当社は、2014年4月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割が2011年9月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

# フィンテック グローバル株式会社 会社概要

本店所在地	東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス		
設立	1994年12月7日		
代表	代表取締役社長 玉井 信光		
上場日	2005年6月8日		
証券コード	8789 (東京証券取引所マザーズ市場)		
事業年度	10月1日から9月30日まで		
事業内容	①投資銀行事業 ②不動産事業		
発行済株式総数	161,927,300株 (2016年9月30日現在)		
単元株式数	100株		
資本金	4,548百万円 (2016年9月30日現在)		
連結純資産	6,312百万円 (2016年9月30日現在)		
大株主 (2016年9月30日現在)	玉井 信光	20,095,500	(12.41%)
	藤井 優子	3,776,400	(2.33%)
	青島 正章	1,708,000	(1.05%)
	田村 直丈	1,576,000	(0.97%)
	ロバート・ハースト	1,535,000	(0.95%)
連結従業員数	114名 (2016年9月30日現在)		

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。



## 免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2016年9月期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」といいます）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。